

議会だより

板野町 ITANOTOWN

<https://www.town.itano.tokushima.jp/add/gikai/>



目次

- ～令和5年第2回定例会～
- P2 議員定数条例改正
- P3 提出議案
- P4～P7 一般質問
- P8 意見書・産業建設常任委員会報告
- P9 全員協議会報告
- P10 行政視察の報告・議会のうごき など



定数1減 賛成多数可決 10月一般選挙より 定数12へ

議員定数を現行の13から12とする条例改正案を、水口昭彦議員、西川有議員、松浦昶議員、東條昭二議員、奥尾周二議員、大西正一議員、根ヶ山昇議員の7氏の連名で提出され、反対者・賛成者の討論の後、起立採決にて賛成多数で可決いたしました。



提案説明 水口議員

議 員1減することで、年間約420万円、4年間で約1,700万円の経費が削減できる。削減した経費を、町民の皆様への施策に充てるべきである。

人口が同規模の町でも定数が12名であり、行政のチェック機能は十分に果たしている。

立 候補をうわさされる方は、現在の定数以上いると思われる。定数を削減すれば得票率も上がり、立候補をためらう方も出てくるのではないかと。削減することで、将来にわたって多様化した住民の声や事業ができにくくなる。



反対討論 石田議員

過 去にも定数削減をしているが、町民生活に支障を来した、まちづくりが後退した、チェック機能が低下したという状況はない。住民生活に大きな影響となっている物価高騰対策などに充てるべきであり、議会自ら身を切る改革が必要である。



賛成討論 東條議員

削 減根拠が明確でなく、議員一人減るだけで、町民の声を拾う受皿も減る。定数削減、定数割合を減らすことで、若手議員が現れにくいデメリットもある。議会の発言力が低下する根本的な改正であり、十分議論を重ねるべきである。



反対討論 三原議員

令和5年第2回定例会提出議案

会期は6月5日～14日、議案25案件
(報告8件、議案15件、追加議案2件)
全て可決されました。

専決処分を承認

●板野町税条例の一部改正について

主に、中小事業者の先端設備導入促進のため償却資産税の軽減措置を創設

●板野町国民健康保険条例の一部改正について

主に、国保税の課税限度額の引上げや軽減判定所得見直しについての改正

●令和5年度 板野町一般会計補正予算(第1号)

8,135万円追加
主に、価格高騰重点支援交付金等を活用した以下の事業を実施するため増額補正
・プレミアム付商品券
発行事業(予算額2,

700万円)

町内在住の方で世帯当たり4万円を上限に30%のプレミアム付商品券を発行



●給食費免除(予算額1,456万円)

6月から来年3月まで免除

●子育て世帯生活支援特別給付金事業(予算額1,235万円)

低所得の子育て世帯の児童1人当たり5万円支給

●令和5年度 板野町水道事業会計補正予算(第1号)

営業収益3,800

万円減額

●令和5年度 板野町下水道事業会計補正予算(第1号)

営業収益600万円減額

6月・7月請求分の水道料金・下水道料金の免除のため

●令和5年度 板野町一般会計補正予算(第2号)

6,847万円追加

主に、左記の給付金給付事業を実施するため増額補正

●電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金(予算額5,815万6,000円)

住民税非課税世帯1世帯当たり3万円を給付

●令和4年度 板野町一般会計継続費繰越計算書の報告について

令和4年度 板野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和4年度 板野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和4年度 板野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和4年度 板野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和4年度 板野町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

板野町農業委員会委員

14名が任命の同意を得ました。任期は、令和5年7月20日から3年間です。

- 鳥羽 宏和(矢武)
- 藤井 義之(羅漢)
- 近藤 博三(那東)
- 石田 徹(古城)
- 犬伏 秀昭(西中富)
- 秦 浩恵(西中富)
- 石川 五重(川端)

追加議案

●板野町議会議員定数条例の一部改正について P2参照

●物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書 P8参照

質問事項：地球温暖化対策について

太陽光発電設備に補助金を出しては！



いしだ みのる
石田 実 議員

問

国は、「第6次エネルギー基本政策」を2021年10月に決定し、2030年度に2013年度比46%削減、2050年度、温室効果ガス排出量、実質ゼロを打ち出している。全国でも「地球温暖化対策推進法」に基づいて、温暖化対策が取り組まれている。国も再エネを活用した地域脱炭素化を進めており、町内の公共施設にも太陽光発電を設置してはどうか。

答

停電時等防災上のメリットはあるが、初期投資・維持費等莫大な費用を要し、また、施設の耐力の問題などのデメリットの部分もある。既に公共施設11か所に設置済みで

あり、他の公共施設への設置は考えていない。

問

家の屋上に太陽光パネル18枚、約5・11kwを設置した場合、年間1.6tのCO₂削減効果があるといわれ、また、災害時に停電した場合、一定の発電は行われる。そこで、各戸に太陽光発電設備に補助金を出してはどうか。

答

太陽光発電設備等の設置はCO₂排出削減になると思うが、公平公正な観点から、現時点では補助金の交付は考えていない。

再問

「カーボンニュートラルに向け、県も太陽光発電導入を支援する」と

いう新聞記事が載った。県とのタイアップで、できるのではないかな。

答

知事は補正予算で「太陽光発電導入を支援する」とのことであり、県の動向を踏まえながら、町独自の対応も慎重に検討させていただく。

問

地球温暖化対策推進法では、「再エネの利用促進、事業者・住民の削減活動促進、地域環境整備など」が書かれており、当然、削減目標も決まっている。本町の計画はどうなっているのか。

答

「板野町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」は策定済み。町民・事業者の

その他の質問

●若者の移住・定住促進について



一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

質問事項：板野町の大規模盛土の調査について

くらしを守るため 地盤調査は必須！



みはら だいすけ
三原 大輔 議員

問

令和3年9月議
会での「オリンポ

ス・パノラマニュータウン・
スーパーリッチランド集
合住宅地の地盤調査を
早急に行うべき。」の質

問で、「実施時期につい
ては県と協議し、しかる

べきタイミングで行いた
い。調査については、も

ちろん、これからも県と
実施時期を確認してい

く。」と答弁があったが、
現在、徳島県と地盤調

査について、どのような
協議を行っているのか。

答

地盤調査の実施時
期については、国の

目標（令和7年度末ま
でに着手率60%）に向け

て調整している。徳島県
より県内市町村の進捗

状況の情報提供のみであ
り、今後、必要に応じて

協議を行っていく予定。

再問

「今後、協議
を行ってい

く。」とのことだが、今
まで協議を行っていない
かったのか。

答

進捗状況の提供の
みとなっており、町

から県に働き掛けができ
ていない状況。国の目標

に向けて、今後、県と協
議を行っていく予定。

問

一昨年の9月か
ら今まで行われて

いないのは、大変心外。
当該集合住宅地では、

目に見える範囲でも一部
「地盤沈下」「擁壁のク

ラック」「側溝のずれ」な
どがあり、知識のない

私から見ても危険な予
兆を感じざるを得ない。

今後、県との協議を進
めるといことだが、防

災は、人命が懸かる大

変重要な政策。是非、
早急に地盤調査を実施

していただきたいと思
うが。

答

当該集合住宅地の
「地盤沈下」「擁

壁のクラック」「側溝のず
れ」は認識している。スー

パーリッチランド北側道
路の町管理部分の町道

擁壁は、北側擁壁部分
に背面陥没があり、基礎

の沈下により擁壁にク
ラックが生じている状況。

その他の質問

● 処理施設の現状
と今後について

● 放棄空き家、空き地
の美化について

一般質問の全文は、
議会ホームページに
掲載しています。



スーパーリッチランド北側道路

質問事項：改正マイナンバー法と健康保険証の
廃止について

資格確認書で
医療は受けられるのか！



あもう いくみ
天羽 生美 議員

問

通常国会で改正
マイナンバー法案

が提出されたが、健康
保険と一体化するた
め、来年秋に健康保険
証が廃止される。改正
マイナンバー法は、大
きな問題点が出てきて
いるが、国会では、強
行採決を行った。マイ
ナンバーカードを取得
するかどうかは、個人
の自由意志に基づくは
ずであるが、健康保険
証と一体化するなど、
何が何でもマイナン
バーカードを使わせたいとの国の強権的なやり方を感じざるを得ない。

マイナンバー保険証
を受け付けた開業医の
65%が「トラブルがあっ
た。」と回答されている
と聞いている。このよ
うに、マイナンバーカー

ドは、大きな混乱があ
る。現在の健康保険証
では、役場から全ての
被保険者に対して保険
証が交付されている。
改正マイナンバー法で
は、マイナンバーを取
得していない人の健康
保険証は、どうなるの
か。健康保険証を廃止
した場合、健康保険の
資格は何をもって示す
のか。

答

健康保険証は来
年秋に廃止され、
マイナンバーカードと一
体化される。マイナン
バーカードを申請しない
場合、保険者が「資格
確認書」を無償で発行
する。

「資格確認書」には、
被保険者番号や保険者
情報など、資格を確認
できる内容と併せ、1

再問

私自身は、マ
イナンバー

カードは申請するつも
りはなく、保険税を払っ
ているのに資格確認書
で医者には掛からなけれ
ばならず、非常に心外
である。資格確認書で
は、医療を受けた場合
に10割払われるので
はないかという心配が
あるが、そのようなこ
とは全くないのか。

答

資格確認書には1
割から3割の自己
負担割合も記載される
ことから、それをもって
保険診療が可能である。

その他の質問

●老朽化した羅漢、山
下、川端の三団地に
ついて

一般質問の全文は、
議会ホームページに
掲載しています。



質問事項：災害予防対策として町内の 河川改修について

大坂谷川・宮川内谷川・旧吉野川 堆積土砂等の撤去を！



みずぐち あきひこ
水口 昭彦 議員

問

近年の気候変動により、線状降水帯等の発生に伴い、集中豪雨等により氾濫等が増加しているが、町内河川の現状をどう捉えているのか。

答

本町は天井川が多く、気候変動による線状降水帯の発生で、河川の氾濫による被害が想定されている。土砂の堆積や水の流れを阻害する箇所もあり、河川のしゅんせつ等を含め、災害を未然に防ぐことが課題である。

問

町は、県管轄河川であれば、国管轄河川であれば、国交省等に要望する立場である。3年ほど前から、大坂谷川・宮川内谷川は土砂等を撤去す

問

る工事は始まっており非常に良いことであるが、大坂谷川においては、期待したほど堆積土砂が撤去できていない。もっと土砂を撤去する必要があると思うが今後の考えは。

答

大坂谷川・宮川内谷川の掘削が不十分とのことであるが、大坂谷川のしゅんせつ等は、随時、県へ要望している。宮川内谷川のしゅんせつ等は、古城橋から唐園地区まではしゅんせつと樹木伐採の工事等が完了しており、今後、唐園から上流についても要望する。

問

旧吉野川の東徳島医療センター付近の合流地点は、土砂が堆積している。流

問

入する下流河川の水が捌けないと、大坂谷川・宮川内谷川を含め、上流河川はスムーズに流れず、旧吉野川のしゅんせつも早期に実現できると強く要望する必要があると思うが、今後の要望、取組は。

答

国土交通省河川事務所へ随時要望している。6月28日に同事務所による本町要



大坂谷川 河川掘削状況

望箇所の現地視察があり、しゅんせつ等の要望箇所の現地説明を予定している。

その他の質問

●徳島県公立高校の学校選抜制度の学区制の廃止について

一般質問の全文は、議会ホームページに掲載しています。

物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを要望

物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める意見書

提出議員 石田 実 議員

天羽生美 議員

41年ぶりの物価高騰は、全ての国民を苦しめ、夏には2万品目の食料品が値上げされる見込みで、更に長期化するとみられている。

厚生労働省は、2023年度の生活保護費を据え置き、公的年金支給額を低い伸びに抑えたため、実質的引下げとなっている。過去1973、74年のオイルショック時の物価高騰には、2年間で6度にわたり、生活保護基準引上げや手当の支援があった。

2013～15年、2018～20年には、相次いで生活保護基準が引き下げられている。生活保護基準は様々な制度の土台となっているため、生活保護を利用していない多くの国民にも多大な影響を及ぼすものである。

よって、物価高騰に見合う生活保護基準の引上げを求める。

審議・採決の結果、全員賛成で可決し関係機関に提出しました。

産業建設 常任委員会

令和5年5月22日に産業建設常任委員会委員、町長始め担当課職員出席のもと、「令和5年度町単独土木事業の施工要望箇所について」協議し、令和4年度よりの継続箇所5か所、本年度新規要望箇所15か所のうち11か所、工事費100万円以下の要望箇所9か所については全ての箇所について、概算工事費3,840万円で実施することで決定した。また、新規要望箇所の残り4か所については、他事業等で検討することとした。委員会では決定した事項は、6月5日に開催した全員協議会で報告をいたしました。

全員協議会報告

4月25日・5月1日・

6月5日に、早急に実施する必要のある事業予算（一般会計、水道事業会計、下水道事業会計）の専決処分（P3参照）の了承など、町づくりに関わる重要事項について協議いたしましたので、主な内容を報告いたします。

板野保育園耐震診断結果について

令和4年度で保育室3棟について耐震診断を行った結果、「耐震性を確保して安全である」との結果となった。経年劣化により外壁が全体



的に塗装の剥がれ、一部クラックがあることから、今年度、外壁全体の修繕工事を行う予定。併せて屋上防水調査を行い、結果によっては、防水工事も検討する報告がありました。

令和5年度公共下水道（島中須地区）の管渠築造工事の入札について

4月27日に実施した4件の工事の入札において、入札会終了後誤りが発覚した。これは令和4年11月に最低制限価格の算出式を改定していたが、変更前の算出数値で設定し、誤った最低制限価格により落札候補者の決定をしていたもので、当該工事の入札参加者に説明等を行い、入札を無効とし再入札することとなった。原因は、入札管理システムの確認ミスであり、関係者には大変ご迷惑をお掛けしたこと、また、今後、複数職員による確認作業の徹底、他の事務においてもこのような事態が起

きないようチェック体制を強化し、再発防止に努めるとの報告があり、議会からもチェック機能を十分にし、業務を行うよう申し添えました。

（株）アメイズとの災害時における宿泊等の施設提供に関する協定について

令和5年10月上旬オープンに向けて建設が進められている、道の駅「いたの」に隣接するホテルアメイズ徳島板野店において、災害時における宿泊等の施設提供に関する協定を締結することとなった。内容は、災害対策本部設置に伴い、関係職員及び他県や町外からの応援職員の受援に際し、町からの要請時点でホテル側が提供できる可能な範囲

国営総合農地防災事業における総事業費の改定について

「国営総合農地防災事業（吉野川下流域地区）」は、農林水産省が事業主体（令和6年3月に水資源機構へ承継予定）となり、3市5町（徳島市・鳴門市・阿波市・松茂町・北島町・藍住町・板野町・上板町）に農業用基幹水路等を整備し、農業用水の水质改善により生産性の向上等を図ることを目的に、平成3年度より事業を実施。令和7年度の完成が迫る中、近年の物価高騰による影響から、総事業費を1,626億円から1,630億2千万円（4億2千万円増）へ改定する案が国より示され、町負担が160万円に抑えられる令和7年度までに改修を行えるよう、総事業費の改定について了承をいたしました。





ICTパーク・旭川市

5月9日～11日の日程で、北海道旭川市・仁木町へ行政視察を行いました。本町の子ども家庭総合支援センターでは、eスポーツを導入しており、運用について研修。このICTパークは、官民連携の最大級のeスポーツの拠点として、ICTに関心の高い人材育成や若者たちが世界に羽ばたける場として活性化している。



仁木町議会・仁木町

全国町村議会広報コンクールで5年連続受賞している仁木町議会だよりの編集運用について研修。編集では、小学生でもわかりやすい活字を中心とし、幼児等の写真を掲載するなど工夫し、見てもらえる広報誌を目指している。

議会のごきぎ

4月

- 11日 板野郡町議会議長会定例会（松茂町）
- 20日 議会広報特別委員会
- 25日 議会全員協議会
- 議会広報特別委員会

5月

- 1日 議会全員協議会
- 9日～11日 行政視察の実施（北海道仁木町ほか）

- 15日 議会広報特別委員会
- 18日 徳島市議会
- 19日 議長・副議長来訪
- 22日 議長・副議長来訪
- 23日 議長・副議長研修会（東京都千代田区）
- 29日 議会運営委員会
- 議会広報特別委員会

6月

- 5日 6月議会定例会開会
- 6日 議会全員協議会
- 7日 産業建設常任委員協議会
- 8日 総務文教常任委員協議会
- 13日 厚生常任委員協議会
- 14日 一般質問・議会運営委員会
- 6月議会定例会閉会
- 議会広報特別委員会

編 集 後 記

初刊号では、文字が主体となっておりますでしたが、第2号の編集は、仁木町議会が心掛けている編集校正や、これから板野町がすべき広報活動の助言を活かした校正に努めました。また、色調のオレンジ色は本町特産の人参をイメージしております。限られた頁数ですが、町民皆様に親しまれる広報誌になるよう、引き続き、議会広報委員会を中心に議員一同、努力してまいります。

議会広報特別委員会委員長 水口昭彦

傍聴のご案内

定例会議は、3月・6月・9月・12月に開催します。議場どのような発言をしているのか、お越しいただきお確かめください。お問い合わせは議会事務局にご連絡ください。

議会だより意見募集

議会だよりは、今回が2回目の発行となりますが、より充実した内容にするため、町民の皆様のご意見を募集します。議会だよりについてご意見いただける方は、下記の連絡先（電話・メール・FAX）までお願いいたします。